

リニューアルしたふじのかみトイレットペーパーを活かした 富士市の製紙業のPR活動

常葉大学 経営学部 小豆川ゼミ・研究室

指導教員：教授 小豆川裕子

参加学生(17名)：○リーダー

3年：○渡邊拓実 小澤萌樺 河野友華 杉山乃衣 野田莉帆 佐藤陽 五十嵐拓哉

関野智城 友田祐紀 石川凜 柴田蒼空 玉木文菜 渡辺歩武 尾崎史温 塚本達也

森下愛唯 佐々木梨帆

1 要約

令和6年度、小豆川ゼミ（研究室）現4年生は本事業の助成をいただきデザイン思考を活用して新「ふじのかみトイレットペーパー」のデザインを企画・制作した。

令和7年度は3年生がこれを引き継ぎ、新デザインを活用したプロモーション施策として『製紙産業PR展in 富士』におけるPRコーナーを企画し、運営を実施している。

具体的な内容はプロモーション（PR展ポスター、2種類（一般向け・小学生向け）のチラシ制作、HP、SNSの告知）、当日配布するノベルティ（ロゴマーク入り付箋）およびPR展で学生スタッフ等が着用する新ふじのかみデザインTシャツの制作、当日のイベント（3種類のクイズ（初級・中級・上級）、ペーパーボウリング、願いを叶えるクリスマスツリー）の企画・制作・運営である。結果、PR展では幅広い年代層が積極的に参加いただき「紙のまち富士」に親しんでいただいた。

限定的ではあるが本事業の実施による富士地域の製紙産業の認知・理解度の向上への寄与が拝察される。

2 研究の目的

本研究は令和6年度小豆川ゼミ・研究室が企画・制作した新「ふじのかみトイレットペーパー」を活用することにより、『製紙産業PR展in 富士』におけるプロモーション施策を企画・運営することにより、「紙のまち富士市」のプレゼンス向上、再生家庭紙の普及促進に貢献することを目的に実施する。

3 研究の内容（以下敬称略）

(1)実施体制と役割分担、(2)実施時期と内容は以下のとおりである。

(1) 実施体制と役割分担

- ・課題提出者：富士市産業交流部 産業政策課
- ・企画・実施運営：小豆川裕子ゼミ・研究室 3年 17名
- ・連携・協力：富士地域再生家庭紙利用促進協議会 富士商工会議所 富士市商工会 静岡県紙業協会 静岡県紙パルプ技術協会

(2) 実施時期と実施内容

2025年

7月10日：キックオフミーティング：富士市産業政策課より本事業の目的、趣旨、製紙業界の動向、富士市における製紙と富士地域再生家庭紙利用促進協議会、「ふじのかみ」啓発事業の概要等のレクチャーを受講と質疑応答

9月19日：富士市産業交流部産業政策課主催 富士市新産業創出セミナー 富山達章氏『コモディティからの脱却！新たな成長事業を生み出すワークショップ』の受講とワークショップの参加

9月～12月：3つのグループに分かれて『製紙産業PR展in 富士』の企画・準備

12月5日、6日：『製紙産業PR展in 富士』の実施・運営

2026年

1月：全体振り返り、成果報告書の作成、ふじのくに地域・大学フォーラムの報告準備

2月11日（予定）：ふじのくに地域・大学フォーラムにおける発表

4 研究の成果

(1)当初の計画 12月5日(金)、6日(土)に開催する『製紙産業PR展 in 富士』におけるプロモーション施策の企画を行い、3つのグループに分かれて準備を行い、当日運営を行うというものであった。

(2)実際の内容 A:

関係各者の御協力をいただき、予定どおりに実施ができた。

(3)実績・成果と課題

①実績・成果

本事業の実績・成果は以下のとおりである。

施策	成果
全体のテーマ設定	『製紙産業PR展 in 富士』 もっと知りたい紙の魅力、紙の世界へ！ みんなで楽しく富士の紙について学ぼう！
告知・プロモーション	・ポスター制作 ・チラシ：2種類（一般向け・小学生向け）の制作・配布（市内小学校（25校、全児童チラシ配布）、市内中学校（15校）、市内高校（6校）、公共施設、富士商工会議所、富士市商工会、紙業協会等支援機関、市内製紙関連企業、出展企業・団体 ・HP、SNSの告知（本学および富士市ウェブサイト、メルマガ（ビズサポ）、富士市Facebook、X（旧Twitter）、報道提供
PR展の企画・実施運営	・当日の受付 ・ノベルティ（ロゴマーク入り付箋）の制作・配布 ・PR展で学生等スタッフが着用する新ふじのかみデザインTシャツの制作・着用 ・各種イベント（3種類のクイズ（初級・中級・上級）の企画・制作・運営 ・ペーパーボウリングの企画・制作・運営、生成AIを活用した壁ポスターの制作 ・願いを叶えるクリスマスツリーの企画・制作・運営、生成AIを活用した壁ポスターの制作 ・来場者の退出時におけるクイズの採点、参加者へノベルティ、新「ふじのかみトイレットペーパー」等配布物の配布

12月5日、6日の『製紙産業PR展 in 富士』の来場者数は2日間で426名であった（前回(R5年度)は3日間で493名）。

本研究を通じてゼミ生は、富士市および市民にとっての製紙業および再生紙の意義・魅力や製紙業界の動向、CNF等の優れた技術の活用等を楽しみながら学修することができた。PR展の準備では、CANVA等を活用したチラシ、ポスターの制作や発注業務を体験するとともに、効率的かつ強みを活かしたプロジェクトの遂行および計画性と柔軟性の両立の重要性、不測事態における臨機応変の対応力等を学ぶことができた。当日の様子は、12月6日付NHK、読売新聞、静岡新聞で報道された。

② 課題

課題としてはさらなる幅広い年代層の集客力の向上、PR展の全体目的や具体的な内容の直観的なわかりにくさ、クイズの展示場所や実施方法のわかりにくさ、準備段階における空間イメージ、配置計画の難しさ、2日目のシフト人数の少なさ等が指摘された。

(4)今後の改善点や対策

今後の改善点や対策としては学生からは、交通至便な場所での開催による集客力の向上、開催当日の流れや会場図の事前の共有による運営力の向上等が挙げられている。

5 課題提出者・地域への提言

課題提出者・地域への提言としては、紙を産業としてだけでなく地域文化としてとらえること、富士市内だけではなく他市や企業との協働による開催の拡大、紙以外のテーマも含めた富士市の魅力の訴求等が挙げられている。

6 課題提出者・地域からの評価

課題提出者・地域からの評価は以下のとおりである。

当市が提案した「リニューアルしたふじのかみトイレットペーパーを活かした富士市の製紙業のPR活動」に参画いただき、ありがとうございました。リニューアルした「ふじのかみトイレットペーパー」を活用して、12月5日(金)、6日(土)に製紙産業PR展in富士を富士市文化会館ロゼシアターの展示室で無事に開催することができました。

当市の製紙業のPRを行うとともに、紙の文化に触れることによる地元産業への興味関心の醸成を目的として開催しましたが、過去の実施事業に比べて1日当たりの来場者が多く、多くの市内外の方に当市の製紙業を知っていただくことができました。特に大学のブースでは、子供からお年寄りまで楽しめるゲームやクイズなどの企画を実施していただいたことで、自治体や業界団体が実施する企画展では実現しにくい幅広い世代の目線に立ったイベントを企画していただいたと感じています。

今回の活動を参考に、富士地域の人たち以外にもPRできるよう当市、富士地域再生家庭紙利用促進協議会の活動をより良いものにしていきたいと思います。(富士市 産業交流部産業政策課 鈴木康平主査)。



◇ポスター・チラシ (大人向け)



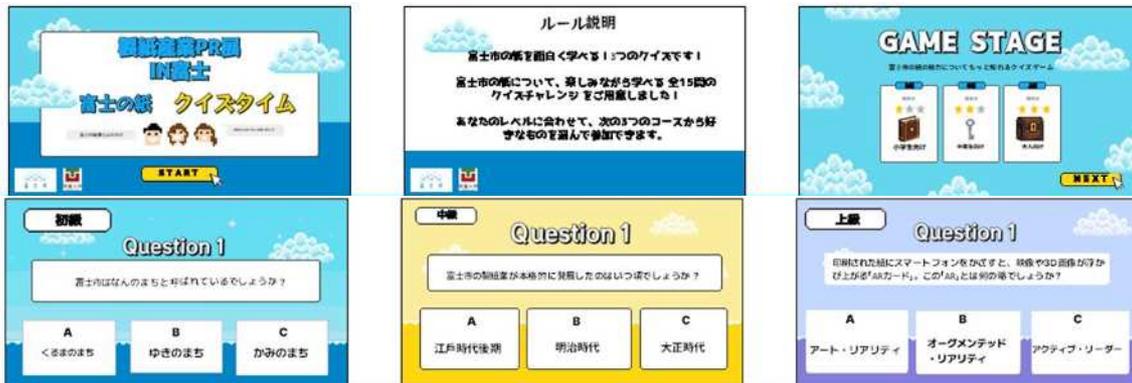
◇チラシ (小学生向け)



◇新ふじのかみのデザインTシャツ



◇ノベルティ: 付箋



◇「富士の紙」クイズ(抜粋)



◇ペーパーボウリング壁ポスター



◇願いを叶えるクリスマスツリー壁ポスター



◇『製紙産業PR展in富士』富士市ロゼシアターにて